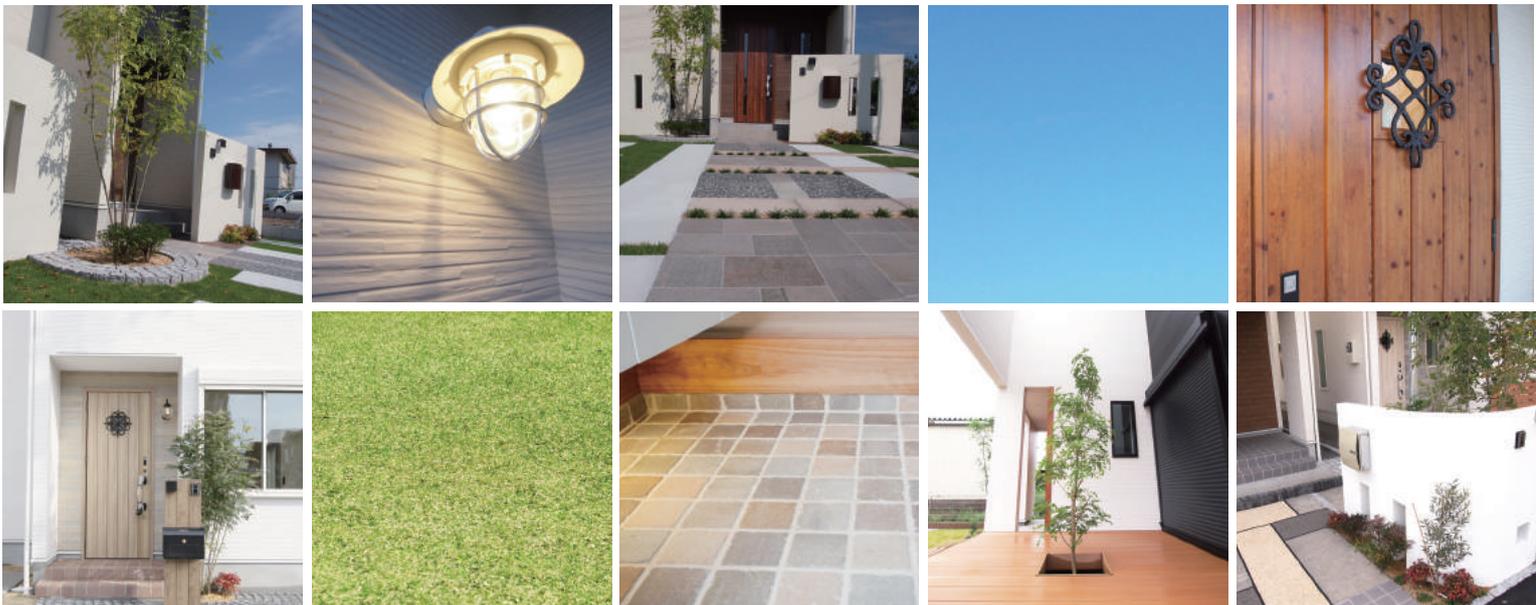


TOWA

Exterior Design
Constructing Example



CONCEPT

東和不動産 エクステリア

庭は古くから来訪者をお迎えする入口。

【わび・さび】や【おもいやり】など日本の心を胸に、
現在の多種多様なデザインをお客様のイメージ色へ造りあげる。

永く住む家を、より一層使いやすくする【ソト】の動線
永く住む家を、より一層自分カラーに染める【ソト】の景観
便利+快適+デザイン+個性を加えた化学反応=【ソト】の空間

家（ウチ）から溢れる家族の笑顔と共に生き続ける庭づくりが
わたしたちの考えるエクステリアです。

1

自然とうまく生きる

私たちは、水を知り、気候を読み、木と会話する。
そんな自然に寄り添ったプランニングをご提案します。

生活ラインを大切に

家（ウチ）の中からは外が見えやすく、
ソトからは家の中が見えにくくしたい【視線】。
家の中の【動線】から続くソトの【動線】。
など生活における様々なラインを大切にします。

2

3

家族のために

家族一人一人にとって。お家にとって。
自然にとって…。一つの輪で繋がるように
すべてがうまく生き、活かされることが
永く暮らす家族のためになると思います。

光と自然の入り口 笑顔のつどう家

大津市T邸

Circle (=丸) をモチーフに、家庭の円満を表現した外構。白壁やブロック・レンガなど様々な材料を使い工夫しています。

玄関タイルは四季折々の風景の変化に合うように、多色のタイルを MIX させ、お家の個性の一つとなるようにコーディネート。

白壁前には植栽を照らすスポットライトを設置。夜になると白壁に映る植栽の影が幻想的な絵を映し出してくれます。



タタミルームとリビングにつながる南向きのウッドデッキからは
元気いっぱいの光と子どもの笑顔の入り口となるように
光の入り口 (=窓) と自然の入り口 (=風景 + 外構) をこだわり設計。



子どもの動線、駐車スペース

ウッドデッキを中心にお家に光が入り込む設計にしましたので、こちよいウッドデッキは子どもの最高の遊び場。ウッドデッキから続く芝生で、さらに子どもが遊べる空間を広げました。しかし駐車スペースも2台分ほしいご希望で、芝生と駐車スペースを隣接しなければいけない。そこで光を遮らない+子どもが飛び出さないように膝までの塀を設置。もちろんデザインはモチーフのCircleに合わせて塀を曲線で描き、統一感を出しました。

オリーブの木が映える シンプルナチュラルな家

大津市 M 邸

全体的に真っ白な外壁にワンポイントアクセントとして木調の外壁を玄関前に入れられているので、そちらのナチュラルな印象を活かすため、木の存在感を大切に、シンボルツリーを包み込むような門柱に。真っ白な門柱には光と影でナチュラルに色づけされるように四角のくりぬきを入れました。



外壁や門柱とは対照的に地面のタイルや洗い出しはグレーで統一。そうすることによって木々が青々と茂る春夏、赤に染まる秋、裸になる冬など色合いの変化やお庭のストーリーを感じることができるように。



敷地（専用通路）における工夫

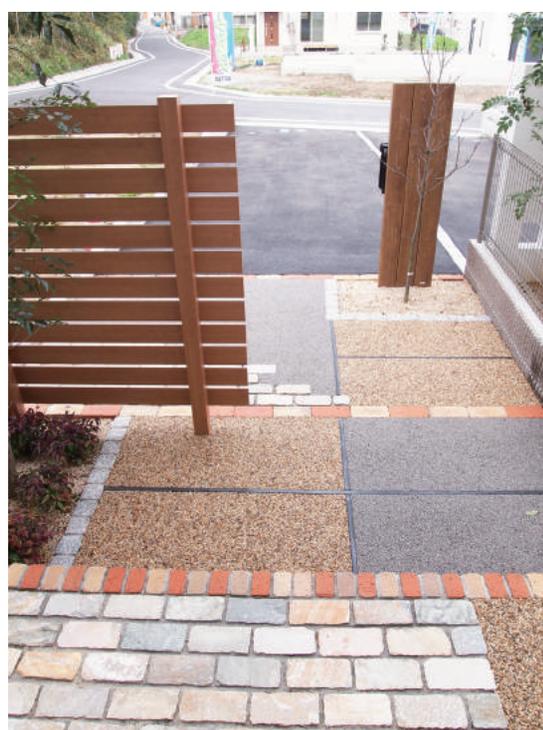
敷地が旗竿地でしたので、旗竿部分に車を止められるように。また隣地との距離が近いので家裏に自転車を置いていけない。そのため自転車の置く場所を家前に確保したいと希望でしたので、アプローチを洗い出しにして、自転車が置けるようにしました。日中子どもたちは自転車で通学。ご主人は車で出勤されるので、自転車や車がない時間帯はデザインが現れる工夫。



テラコッタタイルと 温もりある家

大津市 邸

テラコッタタイル、レンガ、石などの素材のカラートーンを温もりある色に統一。さらにナチュラルテイストを演出するために、玄関ドア前に木調の格子+木調門柱。それぞれの素材感の融合で深みのある温もりを表現。



洗い出しを茶系とグレーの2色で貼り分け。他の素材感と統一するなら、茶系のみで揃えるのも一つの選択肢ですが、すべて同色で揃えると印象がぼやけてしまうので、一部のみトーンを落とし引き締まる色合いを混ぜました。それにより、いい違和感が生まれ、より一層温もりの色が引き立ちます。

敷地（専用通路）における工夫

道路からお家まで長く続く専用通路。建物の雨水が道路まで流れていくように、勾配を計算し、設計しました。また、専用通路部分は車の駐車スペースにされるので、コストやメンテナンスを考え、アスファルトで仕上げました。



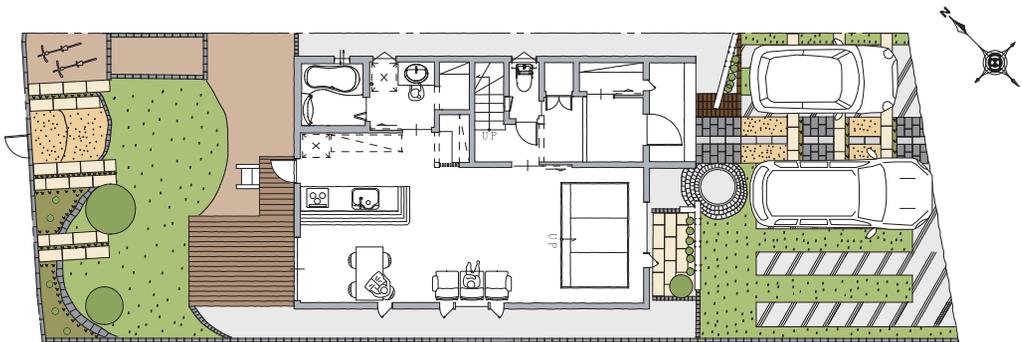
青空のキャンパスに 遊び心を描く家

栗東市K邸

ホワイトの外壁とガルバ鋼板の組み合わせで建てられたお家をやさしく包み込むようにグリーンを配置。芝生とコンクリートでしたら芝生の方がコストが抑えられるので、車輪部分のみコンクリート。安っぽく見せないようにアプローチには天然石をアクセントに。



家（うち）の中からは外が見えやすく、ソトからは家の中が見えにくくしたい【視線】。リビングの大きな窓から家の中が見えないように、高め設定の塀を設置。外観から圧迫感や閉鎖感を感じないように、壁を縦長にくり抜く工夫。また、このくり抜きにより、家の中からソトが見えるので圧迫感がなく、心落ち着く坪庭を実現。



裏庭にもこだわりを

広いリビングと裏庭に一体感を持たせるため、ウッドデッキを設置。2階の書斎から絵画を見るように、ウッドデッキ前にシンボルツリーを置いたり、芝生や石でデザインしたりと、2階からの眺望を楽しめるように工夫しました。

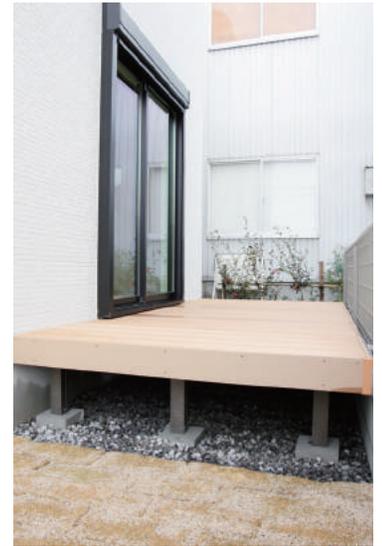




コンパクトな敷地に 3つの要望をかなえた家

守山市M邸

玄関に張られた渋茶色の外壁と合わせて玄関タイルは濃いめのグレータイルでかってよくコーディネート。
駐車スペースや門柱廻り、ウッドデッキ前などグリーンを散りばめ、クールな印象の中に温もりを。



35坪の敷地に3つのご要望

1. アプローチをアプローチとしてしっかりデザインしてほしい
2. 駐車スペースを2台確保してほしい
3. ダイニングに繋がるウッドデッキを設置し、こどもとバーベキューがしたい

みんなが集まってきたくなる輪の繋がる家

守山市N邸

敷地の中心に門柱+曲線を描くピンコロ石をデザイン。ご近所やご友人との輪が繋がっていくご家族の想いや、家族円満をテーマにデザインしました。ピンコロ石の合間にコンクリートでラインを描いていますが、石のコスト削減をデザインと魅せる工夫をしました。



真っ白の外壁に玄関前だけ淡い茶系の外壁アクセント。
アプローチは素材感を出すために枕木を使用しました。



木のトリック

お家の正面に大きな腰窓があるので、道路からの視線カットの意味も込めて、シンボルツリーを配置。
窓の前に木を置くことで外部の視線は木に集まり、窓全体を隠さなくても見えないトリック。



【住む + 楽しむ】趣味の家

栗東市K邸

奥様が陶芸家であり、玄関土間には薪ストーブがあるので、焼き終わった作品を外に並べることを考え、土間からフラットに出られるように。
また土間から続くオープンウィン上部に屋根を設置。デザイン的にもポイントとなるのでスタイリッシュなボックス型の屋根をチョイス。



大切なオートバイを風雨から守るため、アウトドア用品、陶芸作品の保管のためにガレージを設置。

車の通路を色鮮やかに

専用通路の敷地で、アプローチ兼駐車スペース。駐車スペースは車両の出入りの為、木や芝生が植えられず、コンクリートになりがちなので、洗い出しの色分け（グリーン）で芝生のようなあたたかい印象へ。
また奥さまは駐車が少し苦手と伺い、駐車の目印になるように直線的なデザインに仕上げました。

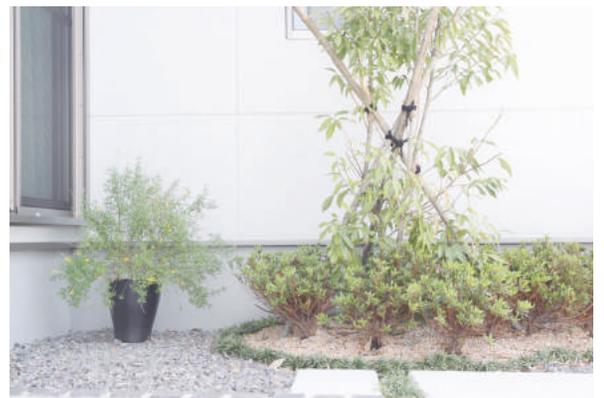


おひさまポカポカ 真っ赤なポストの家

栗東市K邸

南向きのお家で日当たりの良さを活かし、お庭に芝生とウッドデッキ。

こどもさんが道路に飛び出さないように、膝上までのR型門柱を設置し、機能性だけでなくシンボルツリーや緑をいれることで、心休まるナチュラルな印象へ。



外壁に旭化成のパワーボードを採用され、重厚感ある建物。ご家族のあたたかい表情とグリーンをいっぱいに使った外構+真っ赤なポストがおひさまに照らされ、ポカポカと温もり溢れる雰囲気になります。

石と植栽のサンド

玄関前や門柱前に敷かれたピンコロ石の間に竜の鬚（植栽）をラインでいれることで、旅館の玄関のような上品さ、日本の【わび・さび】を感じさせます。

またすべて石で敷き詰めるよりもコストが削減できるデザインです。

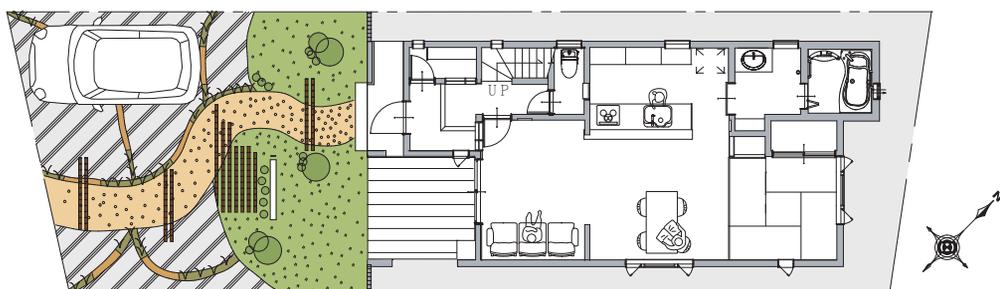




経年美を楽しむアイアンと木を活かしたお家

守山市 S 邸

建物内で使用したアイアンや無垢材の素材を外観でもポイントとして採用。玄関に張られた無垢材の外壁。門柱で存在感を見せるアイアンアート。駐車スペース3台分を考え、コンクリートや洗い出し中心にデザイン。門柱へのアプローチはレンガにすることで、車の駐車も可能。門柱や木の配置で、ウッドデッキでくつろぐご家族の様子が道路から見えないように工夫しました。



青空天井のシンボルツリー

リビングに繋がるウッドデッキの真ん中にはシンボルツリーを入れました。建物計画の階段でウッドデッキの計画がありましたので、シンボルツリーが枯れないように。また、リビングへの日差しが遮られないように天井部分は屋根を設置しない設計に。

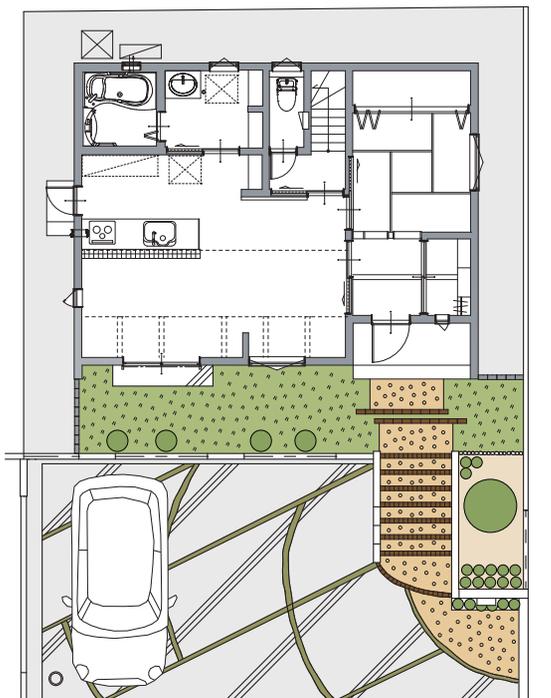
オブジェ的造作で 個性ある天空の家

栗東市 A 号地

お家が道路から高い位置にあることもあり、バルコニー上部の屋根をなくし、空を近く感じることをテーマにしたお家。土間や階段のデザインは、太陽と降り注ぐ柔らかい光をイメージして円形へ。



外構カラーは空に合う自然色を取り入れました。例えば、ブロックを土色。門柱は石、そして時折植栽グリーンをアクセントに。お家自体もその自然カラーが引き立つように外壁や窓を白基調にし、バルコニーの部分だけ木調を使うことで柔らかい自然カラーの印象へ。



幾何学的塗り壁

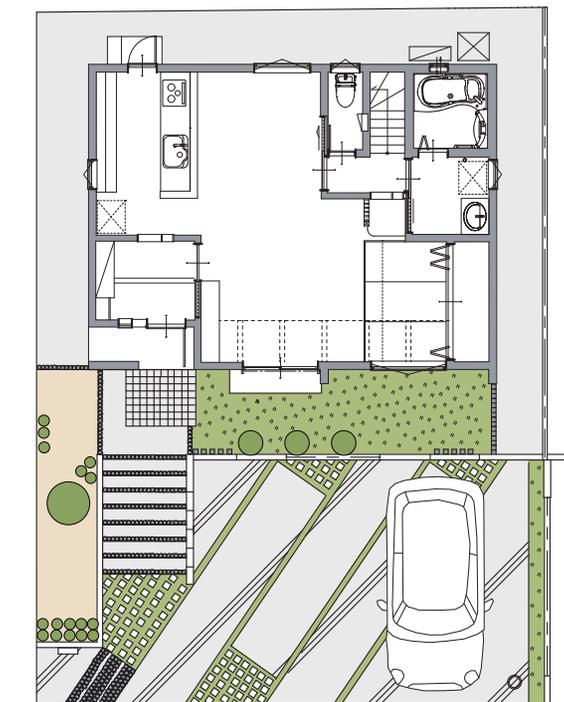
門柱や階段、フェンスとフェンスの間に白塗り壁を幾何学なカタチでデザインの隠し味としてはさみこみました。インパクトは大きくないが、あると無いでは印象が変わってくる名脇役。

こどもにやさしい ワクワク楽しく過ごせる家

栗東市 B 号地

お住まいになる家族のカラーに染まっていくように、白と黒を基調にシンプルに仕上げたデザイン。

ちょっぴり大人でちょっぴり博物館のような外構をイメージして、コンクリート感が印象に残るようにデザイン。



博物館などの外構はシンプルで冷たいコンクリートや金属などの素材を使いながらも、木などグリーンを用いて、自然との融合をうまく取り入れやわらかい印象も含まれるので、ブロックなど素材や植栽にこだわり、いい意味で非日常的な雰囲気を意識しました。



斜めの美学

土間のラインをあえて、道路から斜めに走らせたり、フェンスの両サイドの小壁を斜めカットしたりする工夫により、知的な美しさを表現。